

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	公衆衛生学	1	30	2年次	9月	上野 達郎 荒木紀代子
時間・回数	授業内容					方法
	<p>1)保健統計と資料保存、将来計画の重要性、人口動態調査、国民生活基礎調査、感染症発生動向調査、結核登録患者、国民栄養調査、国民医療費、健康指標 — 平均余命、平均寿命、粗死亡率、傷病統計（罹患率、有病率）、国際疾病分類 ICD（受療率）、医療関係者統計、国民医療費統計、統計のシステム（体制）</p> <p>6.疾病の疫学と予防</p> <p>1)疫学とは何か、疾病成立のモデル：宿主－病因－環境、四種の病気の分類、危険度・分析疫学、感染性疾患の疫学と予防（防疫体制、顕性感染・不顕性感染・日和見感染・院内感染、感染症発生動向調査事業、流行予測、最近注目される感染症）、非感染性の疫学と予防</p> <p>7.保健行政</p> <p>1)保健（衛生）行政の4つの柱（一般保健行政・学校保健・労働保健行政・環境保全行政）、保健行政の歴史的発展（歴史的変換と時代ごとの問題点の推移、わが国の保健所の体制と機能・その国際的な比較と独自性、今後の保健所に期待される新しい機能）、地域保健医療福祉計画について、今後の環境問題と計画・課題</p> <p>8.公衆衛生における今日的課題と展望</p> <p>1)社会経済の発展と公衆衛生、科学技術の進歩と公衆衛生、国際化社会における公衆衛生、公衆衛生における人材育成</p>					
1時間・1回	筆記試験 45分間					
14時間・7回	<p>1.公衆衛生と健康教育</p> <p>1)健康教育の基本的考え方、公衆衛生における健康教育、健康教育と保健活動、健康教育のすすめ。</p> <p>2.公衆衛生活動の実際</p> <p>1)地域活動の公衆衛生学的意義、母子保健、学校保健、地域保健対策、産業保健、老人保健福祉、精神保健福祉対策、歯科保健対策、在宅ケア・訪問看護、難病・障害者に関する対策</p> <p>3.保健行政</p> <p>1)地域保健行政と保健所、(地域保健行政の組織、地方公共団体の保健衛生費、保健所の組織と活動、保健所の組織、保健所の活動) 地方衛生研究所の組織と活動、精神保健福祉センターの働き、市町村保健センターの働き、保健師の活動と今後の展望</p> <p>4.公衆衛生における今日的課題と展望</p> <p>1)看護をめぐる公衆衛生の動き、これからの保健・医療・福祉</p>					講義
1時間・1回	筆記試験 45分間					
備考						